

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 馬場区

日 時 平成 22 年 2 月 22 日(月) 19:00 ~ 20:30

場 所 馬場公民館

出席者 (市 民) 8 人
(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、
松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水
道部長併会計管理者、山田教育部長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、高原主任主
査、諫山協働のまち推進課長、藤田地域コミュニテ
ィ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- | | | |
|---|-----------------------------|---------------|
| 1 | 開会あいさつ(経営企画課長) | 19:00 ~ |
| 2 | 区自治会長あいさつ(区自治会長) | 19:02 ~ |
| 3 | 市長あいさつ(市長) | 19:03 ~ |
| 4 | 市職員自己紹介(経営企画課長) | 19:11 ~ |
| 5 | 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) | 19:15 ~ |
| 6 | 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長)
(別紙) | 19:29 ~ |
| 7 | 閉会あいさつ(副市長) | 20:28 ~ 20:30 |

	発言の主旨	回答
意見 1	資料 4 ページの自治会の部会の説明の中に 委員会とあるが、市としての計画はあるのか。環境委員などは市の方で行ったほうがよいと思われる。	(協働のまち推進担当部長) 色々な地域課題があります。以前は行政からの解決するための提案がなされていきました。校区協議会の中で、色々情報交換していき、行政が主導的に行うべきもの、地域が主導的に行うもの、協働で行うべきものの整理をしされていけば、市も一緒に考えていきたいと思えます。
意見 2	協働のまちづくりは良いことと思うが、市民と行政とのコミュニケーション不足を感じる。市民側に関心がないことも問題であるが、「協働のまち推進」以前に自治会長を含め市民が部長の顔を知らない。催事のたびに、担当部長も積極的に地元の行事などに参加することが大事である。そのような根本的なことから始めないとまちづくりはうまくいかないのでは。	(市長) おっしゃるとおりと思えます。部長は、自分の所管業務については責任を持って参加するよう「現場主義」を唱えています。当ふれあい懇談会も生の市民の声を聞くため、共有体感するために行っています。事前事後に現場確認し、即実行可能なものは即座に対応し、喜ばれている側面もあります。ご指摘の事項は、そのような点で以前とは少し違って来ています。 (自治会長) 最近市役所の対応は、早くなっています。 【画面説明】 財政状況、市債残高、経常収支比率、職員数の削減、太宰府の史跡、水城跡整備、小鳥居小路線整備など
意見 3	自治会制度が導入された。6校区に分かれている。太宰府小校区で自治会長の中でも意見が分かれたが、小学校校区ごとの自治会があればいいのではという意見と、地域と一緒に市全体でしなければならないことがある。今まで区長会で会長がいてやってい	(市長) 私は、連合的な組織は必要と考えます。委嘱は必要ないと考えますが、組織は命令系統(一元化)が必要です。各自治会が集まって、校区の協議会、そのうえに連合会という連絡組織は必要です。組織、流れを明確にしておかない

	た。そのような組織は必要と感じる。自治会長の中でも意見は分かれていると聞くが、市長の考えは。	と、烏合の衆になります。当初は委嘱も考えていましたが、不必要との意見で委嘱は行っていません。
意見 4		(市長) 交通渋滞がひどい状況です。住民の方に迷惑となっていて、解決策を多方面から検討しています。職員が開発し、正月三ケ日の駐車場情報をインターネットで見れるようにしています。パークアンドライドの社会実験など、内部検討を継続して行っています。大型バスの駐車方法など事業者の方々も合理的な運営をしていただきたいと思います。事業者の方々との協議の中で解決の余地があると思います。
	参道の歩行者天国のバリカーの施設について、予算の面もあるだろうが、今後も続けてほしい。	市民による観光客のもてなしの話を聞きます。
	国立博物館周辺の渋滞がひどい。地元車のカード表示など検討してはどうか。	
	太宰府駅前のロータリーでの大学送迎バスのマナーが悪い。注意しても注意した方が悪いと言われる。他の車の通行が阻害されている。	(市長) キャンパスネットワークを 8 大学と作っています。依頼があったときに許可して、今の形態になっていますが、各大学に問題提起してみようと思っています。
意見 5	那珂川町が町民の意見を取り入れて政策づくりを行っている。市長は同考えるか。	(市長) 那珂川町のようなやり方は、総合計画の中で百人委員会としては実施しました。色々な手法があります。今回の自治会制度の変更については、実質機能として素地があったので、それを壊さないようにグレードアップしました。また、一緒に研修などを行い、実際に行っているものを自治条例、協働まち

		づくり推進条例として文言を仕上げるように考えています。実態にあった内容を成文化するように考えています。
		(市長) 総合体育館は建設を検討しています。将来筑紫地区が合併したとしても、太宰府エリアの方々の利用できる施設について時間をかけて実行していきたいと思ひます。